



弥彦中学校だより

第7号 令和5年8月25日発行

2学期のスタートにあたり（始業式講話）

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。
皆さんは夏休みを充実したものにできたでしょうか。

さて、暦の上では二十四節気の「処暑（しよしよ）」を迎え、夏の暑さのピークが過ぎようとする時季となりました。まだまだ暑い日が続きますが、よく見ると稲の穂が黄色くなり始めたり、セミや虫の鳴き声が秋らしいものになってきたりしています。

日本には季節を表す言葉がたくさんあります。春夏秋冬の四季をはじめとして、先ほどの処暑や立春、冬至などの二十四節気、その他に七十二候などがあります。

七十二候は1年間を72の季節に分割したもので、それぞれの季節に起こる自然界のエピソードが当てられています。例えば今日（8月24日）は「わたのはなしべひらく」という季節の1日です。綿の花が開き始めて綿毛が見え始めるころを指します。次の8月28日ころから9月1日ころまでは「てんちはじめてさむし」、更に次の9月2日ころから9月6日ころまでを「こくのものすなわちみのる」と言い、これを聞くだけでなんとなくどんな季節かイメージがつかますし、季節が移り変わり秋めいていくことを感じ取ることができます。

七十二候は年間を72に分けるのですから1つの季節は大体5日間となります。1週間たたないうちに季節が変わってく様子を捉えた日本人の感性や観察力はすごいと思います。

今日から始まる2学期は一番期間の長い学期ですが、この間に、七十二候では25の季節が通り過ぎ、自然界は目まぐるしく景色を変化させ、あっという間に新年を迎えることとなります。皆さんには、季節の移り変わりを感じながら、日々過ぎていく時間を大事にしてもらいたいと思います。

また、これから始まる秋は「実りの秋」ともいわれ、たくさんの収穫がある季節です。このことは人間の成長に当てはめて考えることが多く、がんばったことが結果として現れる時季のようです。また、「スポーツの秋」、「読書の秋」のように、何かをし始めると軌道に乗りやすく、自分自身の成長の過程を実感したり、がんばること自体に充実感がわいてきたりする時季でもあります。

皆さんには、2学期のスタートに当たり、自分はこうなりたい、こうしたいという目標をしっかりと立て、自分自身の成長を楽しみながら充実した毎日を過ごしてほしいと思います。

文責（校長）

2学年ふるさとワーク

8月18日(金)から、2年生が職場体験「ふるさとワーク」を実施しました。村内32の事業所から協力をいただきました。それぞれの事業所での体験を通して生徒たちは、働くことの意義や大切さを学ぶとともに、新たな職業観や勤労観に触れることができました。少し先の自分の将来について、主体的に考えていこうとする意欲を高めることができました。

ご協力いただいた事業所の皆様、本当にありがとうございました。



わたしの主張

23日(水)に燕市文化会館で開催された「新潟県少年の主張 わたしの主張 三条地域地区大会」に3年 五野上さんが学校代表として参加し、優秀賞を受賞しました。



9月の主な行事予定

日(曜日)	行 事	日(曜日)	行 事
9(土)	体育祭	25(月)	教育相談 (~10/5 木)
11(月)	振替休業日	28(木)	小中交流会
14(木)	生徒会専門委員会	30(土)	3年 ふるさとキャラバン
15(金)	生徒朝会 授業参観 激励会		1・2年 学年PTA
21(木)	県央新人大会 3年実力テスト		

